

つくりかた研究所の年表

二〇一三年度	初春	育成事業の準備開始 「だれかのみたゆめ」のアイデアが生まれる	研究室の始まりや動き	世の中
二〇一三年度	五月	「長島確のつくりかた研究所」だれかのみたゆめ」事業開始		
	六月	若手研究員を公募 面談を行う		
	七月	二日・キックオフ バスリサーチ開始		
	八月	週二〜三日の開室日が始まる		
	九月	情報共有SNS SNSサイボウズ使用開始 バステスト実施 ウェブサイト開設		
	一〇月	一日…若手研究員によるバス企画プレゼンテーション しかし会自体が失敗 研究室という案が出る	つくりかたの共有、つくりかたの思想史、じゃがいも企画(のちに撤退)	
	十一月	「失敗できる場所」がキーワードに		
	十二月	「自治」の概念登場		
二〇一四年度	一月	新年会 研究所の名刺ができる	団地(のちに停止)	
	二月	長島の発言「研究所の問いの所在は。何を解かずにはいられないのか。」 「自治」にあたり、事務局メンバー募集	さばきかた、土地の記憶、居場所(のちに拠点探しへ)、楽譜(のちのうごきかた)、抗議活動・クレーム・炎上(のちに停止) 環境音楽、東京二三区	特定秘密保護法案可決 連日反対デモおこる
	三月	長島の発言「小さくていいから企画を立ち上げて回せる人。事務局とアーティストの中間を探る。」 「新年度キックオフ(以降、年四回の内部報告会)」 経理チーム発足	エスノドラマ、テレビ、植物と演劇をかんがえる(のちに停止)、断章(のちに停止)、つなぎかた、群れ(のちにアーカイブと合流)、つくりかた自撮り部、周辺からのドキュメント	消費税増税 ソチオリンピック開催
	四月	研究室の企画・予算プレゼンテーション 各研究室と長島・佐藤(慎)が面談／若手がベテラン(中野)企画を審査 拠点探し開始	各研究室による勉強会、開室日、読書会などが行われる 客者評判記読書会 さばきかた停止	
	五月	年末のイベント(中野企画)参加者決定	読書会、ワークショップ、リサーチなど盛んに寺山研	W杯ブラジル大会開催 イスラエルによるパレスチナ・ガザ地区空爆
	六月	デジタルアーカイブ「リソーススペース」運用開始	年末のイベント企画提出	
	七月	二〇日・二一日…イベント「だれかのみたゆめ展示と実演」	エスノドラマ、環境音楽、客者評判記、つくりかたの思想史、テレビ、土地の記憶、中野成樹が出演	
	八月	写真を振り返る会	つくりかたの思想史、テレビ停止	
	九月	勉強会「伝わらない作文」	エスノドラマ、環境音楽、客者評判記、土地の記憶など各リサーチ、勉強会、創作など活動を継続	ネパール大地震
	一〇月	大川原の発言「つくりかた研究所は休日」	「問題集」執筆 ゆっくりと始まる	SEALDs 結成
	十一月	「つくりかた研究所の問題集」発行		戦後七〇年 安全保障関連法成立
	十二月	イベント「休日再考！」実施予定		パリ同時テロ マイナンバー制度始まる
二〇一五年度	一月	事業としてのつくりかた研究所は終了		
二〇一六年度以降	二月	つくりかた研究所というアイデアはつづく		